

# 穿孔専用機 もりの一発



- 特長**
- 穴開けスピード0.2秒
  - 位置決めストッパーで作業効率UP
  - 原木の曲がりに対応
  - 穴間を自在に調整

**基本仕様** ※改良のため予告なく変更する場合があります

外形寸法：	幅 1,240mm	電 源： 100V
	奥行 850mm	使用原木： 長さ 90～120cm
	高さ 2,040mm	錐の深さ： 20～30mm
重 量：	約 175kg	錐 径： φ8.0mm～φ12.7mm

ご注文は、もりのきのこ種菌・資機材とご指定のうえ、最寄りの農協、森林組合、代理店または森産業支社、営業所、出張所にお申し込みください。

- ◆本社 群馬県桐生市西久方町1-2-23 〒376-0054 TEL.0277-22-1010 FAX.0277-22-8398  
沼田事業所 群馬県沼田市町田町1600 〒378-0062 TEL.0278-22-1455 FAX.0278-20-1067
- ◆支社・営業所・出張所
- 東日本支社  
北海道営業所 北海道白老郡白老町竹浦664-2 〒059-0642 TEL.0144-87-3973 FAX.0144-87-2990  
盛岡営業所 岩手県紫波郡矢巾町上矢次4-28-5 〒028-3622 TEL.019-697-4921 FAX.019-697-4909
- 中日本支社  
関東営業所 群馬県桐生市西久方町1-2-23 〒376-0054 TEL.0277-22-1011 FAX.0277-22-8632  
静岡営業所 静岡県藤枝市岡部町岡部1451-1 〒421-1121 TEL.054-631-7441 FAX.054-631-7442
- 西日本支社  
大分営業所 大分県大分市上田町2-6-7 〒870-0886 TEL.097-543-8833 FAX.097-543-8822  
熊本出張所 熊本県熊本市東区小山4-6-113  
熊本県椎茸農協内 〒861-8045 TEL.096-380-3300 FAX.096-389-5016  
日向営業所 宮崎県日向市大字富高37-1 〒883-0034 TEL.0982-53-9191 FAX.0982-53-9193  
岡山営業所 岡山県岡山市北区辰巳46-104 〒700-0976 TEL.086-805-7033 FAX.086-805-7044  
四国営業所 愛媛県大州市若宮688-2 〒795-0052 TEL.0893-23-3429 FAX.0893-23-3465

## ■種苗法に基づく禁止行為

- ①種苗法により登録されている弊社種苗を試験研究・自家のきのこ栽培などの目的以外で使用してはいけません。
- ②種苗法により登録されている弊社種苗を他の培地に植えつぎ種菌を製造する、いわゆる拡大培養行為はしてはいけません。
- ③種苗法により登録されている弊社種苗を用いて発生した子実体(きのこ)から組織分離を行い、これを基に種苗を製造する、いわゆる自家増殖行為はしてはいけません。

このような行為を育成者権者(種菌メーカー等)に無断で行うことは、種苗法違反となり育成者権者から損害賠償を請求される他、刑事罰則として懲役若しくは罰金、又はその両方を科される場合があります。

## ■弊社種苗の海外輸出の禁止

弊社が製造する種苗は、海外持出禁止といたします。(登録品種は公示(農水省HP)参照)

2021年10月1日現在

原木シイタケ・その他菌床きのこ  
推奨品種パンフレット

原木用  
2021年改訂

# もりの きのこ案内



森290号/秋春出

# にく丸

発生温度範囲/7~20℃

全国的に最も多く使用されている乾・生両方で大活躍する品種です。発生は接種翌年の秋からピークを迎え、3才までに一代収量のほとんどが発生するため、非常に効率の良い品種と言えます。乾シイタケとしては「どんこ」「こうこ」を中心に、亀裂の浅い「茶花どんこ」が採れます。生シイタケとしては9~11月にかけて大型でボリューム感のあるきのこが発生します。この品種は散水での発生が可能のため、発生操作も大幅に省力化できます。

- 品種の特性**
- 原木は樹種、径級を問わず使用でき、ほだ木作りが容易です。
  - ほだ起こしは平均気温が19℃(最低気温が14℃)の頃に行います。
  - ほだ起こし後の水分が少ないときは、半日ほど散水すると芽切りが揃います。



▲大型の生シイタケ

接種翌年(2年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
接種翌々年(3年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8

生 乾



秋 春 出

# ゆう次郎

発生温度範囲/7~20℃

収量が多く、安定して発生するので、経営の安定感が違います。巻き込みの強い「どんこ」「こうこ」が採れ、大葉肉厚で傘は明るいきのこです。冬期のハウス栽培では良質の「天白どんこ」「茶花どんこ」「こうこ」が採れます。ハウスで発生した生シイタケは暮れの贈答用としても活躍します。

- 品種の特性**
- ほだ化は「一森」などと比べるととても早くなります。
  - ほだ場は湿度の高い、温暖な場所が適します。
  - ほだ起こしは最低気温が10℃前後になる頃に行います。そのときに倒木し、散水すると発生が良くなります。
  - 「どんこ」「こうこ」採りに適しているため、早採りが収穫上のポイントです。
  - 雨・散水に強いので、きのこが黒くならにくい品種です。
  - 浸水・散水の刺激で子実体を作りやすいです。
  - 無加温で発生させることができます(省エネハウス栽培)。
  - 凍結防止のため、発生室内の温度を5℃以上に確保することが必要です。

接種翌年(2年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
接種翌々年(3年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8

生 乾



新品種

(登録出願中)/秋春出

# もりの金太郎

発生温度範囲/7~20℃

多収性で株状発生が少ない、中低温性の秋春出系品種です。肉質は硬く、大葉~中葉で肉厚のきのこが採れます。菌傘はやや平型で明るい。ヒダの発色、巻の残りが良く、「どんこ」から「こうこ」「こうしん」まで採取できます。

- 品種の特性**
- 菌糸生長が旺盛でほだ木が作りやすい品種です。
  - ほだ木の出来によっては、種駒でも接種年からきのこが発生します。
  - ほだ起こしは最低気温が12~14℃前後になる頃に行います。
  - 発生中は袋掛けなどで保湿管理することで、良品が採取できます。

接種翌年(2年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
接種翌々年(3年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8

生 乾



# 市場性に優れたもりの優良品種の数々!

(登録品種)/翌年早生夏出し

# もりの夏実

発生温度範囲 15~25℃



生

発生温度幅が広いので、様々な作型に対応できます。基本的には接種翌年の春から秋にかけて使用する品種です。種菌の種類によっては年内発生や、接種翌年の秋冬出しにも使用できます。休養期間をやや長め(ほだ場に返してから40日程度)にすれば、安定して発生する豊産品種です。きのこの色は明るく、ボリューム感があり、ヒダ・柄が白いのでパック詰め最適です。

- 品種の特性**
- 成型駒で木口径の6倍程度の数を接種すると年内発生が可能です。
  - 翌年春に自然発生が見られるので、事前に1回使用します。その後、ハウス内への取り込みを行うと自然発生が抑制され、春先の2回目の発生も安定します。
  - 夏場は涼しい場所で休養させ、ほだ木の活力を維持するために夜間に散水を行うことで発生の低下が抑えられます。

接種翌年(2年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
接種翌々年(3年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

翌年早生夏出し

# よいちまる 与一丸

発生温度範囲 15~25℃



生

初夏から秋にかけての気温が高い時期に能力を発揮する品種です。特に夏場の高温に対する強さは随一です。きのこはやや凸型でMクラスが揃い、肉質が充実し、柄が短いのでパック詰めが容易です。クヌギ原木を使用すると大型でボリュームのあるきのこが発生します。休養期間が短いので高温時期に集中的に使用できます。また、収量も多い豊産品種です。

- 品種の特性**
- 年内発生させるためには、オガ菌や成型駒を用いて2月中に接種を終えてください。
  - 猛暑期は冷水器の使用やクーラー芽出しを行うと、より安定して発生させることができます。
  - 使い始めは休養期間を短め(10~20日)にします。長く休養させる場合には乾燥しすぎないように管理してください。

接種翌年(2年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
接種翌々年(3年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

(登録品種)/翌年早生夏出し

# もりのたまみ 玉実

発生温度範囲 15~25℃



生

肉厚でやや硬く、色は茶色いきのこが採れます。夏場の乾燥しやすい時期でも白くならないことが特長で、Lクラス以上のボリューム感のあるきのこになります。また、成型駒で接種を行っても、収穫しやすいきのこが発生します。接種年内の秋から春にかけての自然発生は少ないです。

- 品種の特性**
- 接種は3月中に終了し、仮伏せを行います。
  - 仮伏せ・本伏せ中に天地返しを最低1回ずつ行います。
  - 本伏せ中は通風をはかり、高温多湿・乾燥に注意します。
  - 初回浸水の1ヶ月前から、水分管理を行います。
  - 夏場の浸水時は冷水機で水温を下げます。
  - 浸水後は芽出し管理を行います。
  - 発生時には日較差をつけるようにします。

接種翌年(2年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
接種翌々年(3年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

(登録品種)/年内秋冬出し

# 森XR1号

発生温度範囲 12~25℃



生

接種年の8月から発生させることができる年内発生品種です。接種孔からの株状発生が少なく、きのこはAMやALといった上位等級品を主体に収穫できます。また、肉質の硬いきのこのため、日持ちがよいことも特長です。接種年の秋に自然発生があり、最低気温が18℃以下になると、きのこが発生しやすくなります。

- 品種の特性**
- 接種は2月までに完了し、接種量は木口径の5倍以上を目安とします。
  - 仮伏せ、本伏せ、休養管理の際、種菌およびほだ木の乾燥に注意してください。
  - 自然発生しやすいので、その頃に散水で発生させることも可能です。
  - 冬期間の休養は野外では行わず、ハウス内で行い温度を確保します。
  - 2年目は春から使用し、浸水から次の浸水までの間隔は45日以上とります。

接種年(1年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
接種翌年(2年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

(登録品種) / 春出

# もりのかん太



乾

発生温度範囲 7~20℃

低温性の春出系品種です。大葉肉厚で明褐色～褐色のきのこが採れ、傘の形状はお椀型で柄が短いことが特長です。発生温度がやや高く、形の良い藤子が発生します。きのこがほだ木に均一に発生する、採取しやすい品種です。

品種の特性

- ほだ起こしは、霜が2~3回降りた頃に行います。
- 12月~1月にかけて抑制(雨除け)し、発生操作(過度の刺激を避ける)を行うとさらに発生が多くなります。
- ほだ木の出来が良いと、ほだ起こしの前後に秋子の発生が見られます。

東日本												
接種翌年(2年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
接種翌々年(3年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
中日本、西日本												
接種翌年(2年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
接種翌々年(3年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8

春出

# 新908



乾

発生温度範囲 7~18℃

明るい「どんこ」「こうこ」「こうしん」が採れ、味がよく、販売用に業者・市場が好む最適品種です。

品種の特性

- 春出系品種としては発生時期が早く、発生期間が長く、特に暖地に適合します。
- 刺激に敏感で、発生しやすい集中発生型です。
- 南面のやや明るいほだ場が適します。
- 他品種より水の量が少なくても発生しやすいので、散水設備のない方にも適した品種です。

接種翌年(2年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
接種翌々年(3年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8

121号 / 春出

# 一森一



乾

発生温度範囲 7~18℃

乾シイタケ界を代表する春出系品種です。その色・つやは乾シイタケのスタンダードです。「どんこ」「こうこ」「こうしん」まで幅広い品柄が採れ、乾燥したきのこは軽くてボリューム感があります。

品種の特性

- ほだ場は温暖でやや湿度が高く、明るい場所を選びます。
- 防風垣と散水設備を整え乾燥を防ぐと、発生が安定します。
- ほだ起こしは、霜が2~3回降りた頃に行います。そのときに倒木し、散水すると発生がよくなります。

接種翌年(2年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
接種翌々年(3年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8

(登録品種) / 春出

# もりのしゅんた 春太



乾

発生温度範囲 5~17℃

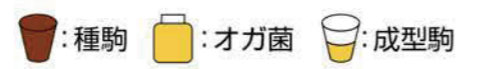
きのこは大葉~中葉の肉厚系で、やや平型、正円形のものが多く採れます。菌傘の色は明るい茶色で花柄が入りやすく、特に乾燥後のヒダの仕上がりは美しく、きれいな山吹色になります。「どんこ」「こうこ」「こうしん」と、幅広い品柄が採れます。

品種の特性

- 気候やほだ木作りの状況によっては、接種翌年に秋子が発生します。
- ほだ起こしは、霜が2~3回降りた頃に行います。
- 春の発生は、九州地方では1月から始まり、3月下旬まで続きます。関東地方では2月下旬~3月上旬に始まり、4月下旬~5月上旬まで続きます。
- 散水刺激に対する敏感さを持ち合わせているため、散水設備を使用することによって発生を促すことができ、他の品種と発生ピークをずらすことができます。

接種翌年(2年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
接種翌々年(3年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8

※各品種で取り揃えている種菌のスタイルについては、右記のマークで表示してあります。



※発生・使用期間は一例です。地方や気象条件、栽培法などにより変わることがあります。



年内秋冬出し

# JMS 5K-16



生

発生温度範囲 10~25℃

秋から春にかけて大葉肉厚、まんじゅう型の良質なきのこが安定して発生する、多収性の有望品種です。その食味は市場や料理店、食通の方々に「美味しいきのこ」と認められています。旨味成分の含有量の分析値がそれを裏付けています。

品種の特性

- オガ菌で早期多植し、ハウス内でほだ化等を行えば年内発生が可能です。
- 標準的な栽培では翌年9月ごろから真冬時まで使用できますが、夏場は涼しい場所を選んで発生させてください。
- 低温期でも変形が少なく、A品率が高いことも特長です。

接種年(1年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
接種翌年(2年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
接種翌々年(3年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

年内秋冬出し

# M655



生

発生温度範囲 10~23℃

足の白さが際立ち、見栄えのする品種です。大葉でボリュームのあるきのこが発生するので、贈答用にも最適です。発生および休養中に温度を確保すると冬期間の発生が安定します。秋の自然発生は少ないですが、春先の温度上昇による自然発生があります。できるだけ自然発生前に浸水を行います。

品種の特性

- 春の自然発生を収穫する場合は、低温期に採取しやすいようにほだ木を組み替えておきます。
- 接種の翌年秋から使用する場合は、春先に刺激を与えないようにして自然発生を抑えるようにします。
- 発生ハウスの湿度が高すぎると傘が黒くなる場合があります。その際はハウス内を明るくしてください。

※受注品種になります。オガ菌の場合は1000mLになりますので、通常のオガ菌と販売金額が異なります。

接種年(1年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
接種翌年(2年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
接種翌々年(3年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

秋 春出

# JMS 7L-5



乾

発生温度範囲/5~20℃

接種翌年(2年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
接種翌々年(3年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8

森6E55号(登録品種) / 秋春出

# もりの福光 ふくみつ



乾

発生温度範囲/8~22℃

接種翌年(2年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
接種翌々年(3年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8

春出

# 908



乾

発生温度範囲/7~18℃

接種翌年(2年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8
接種翌々年(3年目)	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8

新品種 (登録出願中) / 年内秋冬出し

# 森104号



生

発生温度範囲/10~23℃

接種翌年(1年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
接種翌年(2年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
接種翌々年(3年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

森4T98号(登録品種) / 翌年早生夏出し

# 優美 まさみ



生

発生温度範囲/15~25℃

接種翌年(2年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
接種翌々年(3年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

森436号 / 翌年秋冬出し

# 与さぶろう



生

発生温度範囲/10~25℃

接種翌年(2年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
接種翌々年(3年目)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

# ナメコ・ヒラタケ・アラゲキクラゲ・クリタケなど、 原木栽培用その他きのこ品種も充実のラインナップ!

## 家庭での栽培も容易な ナメコ



**森1号(晩生種)** 発生温度範囲 5~13℃  
9 10 11 12 1

肉質が充実し、形状とも最高。多収性で「ナメコ」の王様。特に加工用として最高級品。生販売用としても好評。

**森2号(中生種)** 発生温度範囲 7~15℃  
9 10 11 12 1

肉質が充実し、形のよい豊産種。発生時期が長く加工用にも生販売用にも好評。

**森3号(早生種)** 発生温度範囲 8~18℃  
9 10 11 12 1

発生時期が特に早く、収量が極めて多い。生販売用として市場の高値がねえ、人気絶大。

## 希少価値が高い話題の ヒラタケ

**オガ菌**

■きのこの形が良く、収量が極めて多い。  
■施設周年用及び短木栽培に利用。

**種駒**

■秋から春にかけての自然栽培に適した品種。  
■きのこの柄が充実し、収量が多い。  
■発生温度範囲 10~17℃。



森39号

美容と健康維持に効果的な

## アラゲキクラゲ

コリコリとした食感が魅力的で、中華料理には欠かせないアラゲキクラゲ。食物繊維が豊富でカロリーが低いので、美容や健康維持に効果的です。

※この品種は注文をいただいてから生産を行う受注品種です。



森81号(種駒)

## 直売所などで人気の クリタケ

クリタケは秋の比較的遅い時期に発生し、味・形ともに野性味があり、きのこ狩りを楽しむ人々に人気があるきのこです。5~8年と長い期間、栽培を楽しめます。



森77号(種駒)

## 栽培原料原産地マークを普及させましょう



日本産広葉樹原木使用

M000

例

### 国産きのこ生産者の皆様へ

近年、中国で製造・輸入された菌床(原料は中国産)を日本で栽培し、そこから発生したきのこを「日本産」として販売する事例が増えてきました。

これらのきのここと差別化を図るべく森産業が普及に努めているのが「栽培原料原産地マーク」(通称:どんぐりマーク)です。このマークは「日本産原木」「日本産おが粉を使用した菌床」から発生したきのこにのみ表示することができます。どんぐりマークを普及させ、消費者に**本当の日本産きのこ**をPRしましょう。

※マークの使用については申請が必要となります。詳しくは、森産業の各支社、営業所までお問い合わせください。

## きのこ別 適応樹種 一覧表

	くぬぎ	こなら	みずなら	あべまき	かし類	ぶなのき	しい	くり	くるみ類	しで類	かば類	はなのき	やしゃぶし	はるにれ	けやき	えのき	やなぎ類	どろのき	くわ	ほおのき	かえで類	とちのき	さくら類	やちだも	ぼぶら	なし	りんばい	かき	からまつ
シイタケ	◎	◎	○	○	○		○			○																			
ナメコ		○	○		○	◎	○		○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎	◎	◎	○					
ヒラタケ						◎			◎	◎	○	◎	○	○	○	◎	◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	
クリタケ	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○	○	○	○			○			○	○	○	○		○	○	○		
アラゲキクラゲ		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○
ムキタケ	◎	◎			◎				○	○	○	○					○				○	○	○						

◎…最適、○…適

## 種菌の種類と専用キリ・ドリル

	項目	種駒	成型駒	原木シイタケ用オガ菌
種菌の種類	形状	丸クサビ型	円錐型	瓶型
	寸法・容量			
	1ケース入り数	1万個 (1,000個×10袋)	10,120個 (460個×22シート)	10本
	購入最小ロット	1袋	1ケース	1本
キリ	対応キリサイズ (mm)	9.2mm・9.4mm	12.7mm・12.9mm	12.0mm
		ハイスピード1キリ (9.2mm)		
		ハイスピード1ピットキリ (9.2mm ストッパー付き)		
ドリル	対応回転数	10,000回転/分 6,000回転/分	6,000回転/分	6,000回転/分

各種きのこ栽培関連資機材を多数取り揃えております。  
また、お客様のプランに沿ったプラント設計・施工を承っております。